

今こそ受精卵移植！ 受精卵の生産元別のET和牛子牛販売成績

県立総合技術研究所畜産技術センター育種繁殖研究部

日高健雅 氏

先月の記事では、三次市場におけるET和牛子牛価格は、F1スモールと比較して15～20万円の差があることを紹介しました。今こそ、経営戦略の一つの柱として受精卵移植により高い副収入の獲得を目指しましょう。

しかし、「高く売れるET和牛子牛は、高い受精卵の子牛に限るんじゃないの?」と思われる方もあると思います。そこで、今回は今年の三次市場における県生産受精卵によるET和牛子牛の販売価格をまとめましたので、紹介します。

◆平成26年ET和牛子牛のセリ結果と受精卵の由来の比較

「高い受精卵を使わないと、ET和牛子牛は高く売れん!」。こんな声も時々聞かれます。たしかに、ET和牛子牛の販売価格は、受精卵の血統や親牛の育種価などが影響します。しかし、ET和牛子牛で高収益を得られるのは、本当に価格の高い受精卵だけでしょうか?

広島県が生産した受精卵(県生産)と、広島県以外の団体が生産した受精卵(県生産以外)のET和牛子牛の平均販売価格をグラフにまとめてみました。雄、雌いずれにおいても、県生産と県生産以外のET和牛子牛の販売価格に差はほとんどありませんでした(図1)。

県有種雄牛の受精卵産子のみ抜粋してみても、雄子牛で36万円以上、雌子牛で30.4万円以上と、いずれも総平均よりも高い価格で取引されています(表1)。

県生産の受精卵が11,600円(県有種雄牛交配)または16,100円(県外種雄牛交配)で購入できることを考えると、高価な受精卵だけではなく、県生産の受精卵を用いることにより、受精卵移植によるET和牛子牛販売のメリットを得られると考えられます。

もちろん、血統のよい高価な受精卵の利用を否定するものではありません。受精卵移植によるET和牛子牛の生産は、酪農家の副収入の増加や地域の和牛の改良の推進などにも大きな役割を果たしています。受精卵を賢く選択し所得向上を期待しています。

図1 受精卵生産元とET和牛子牛の販売価格(万円)

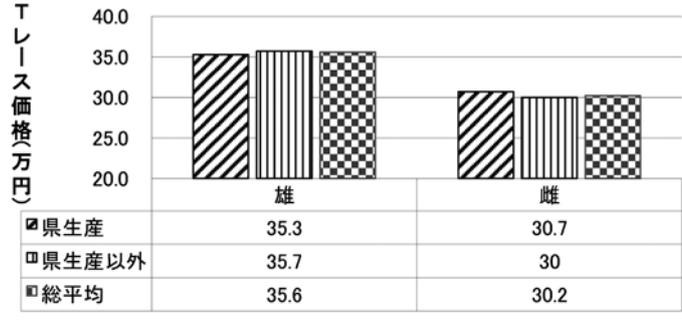


表1 県有種雄牛のET和牛子牛の販売価格

種雄牛	♂		♀	
	価格(万円)	DG	価格	DG
紅勝白	36.7	1.5	30.4	1.5
田安照	36.9	1.5	30.8	1.4

ご注意ください!! 出荷生乳への「抗生物質混入」は被害甚大

組合員による出荷生乳について、抗生物質混入により廃棄する事故が後を絶ちません。

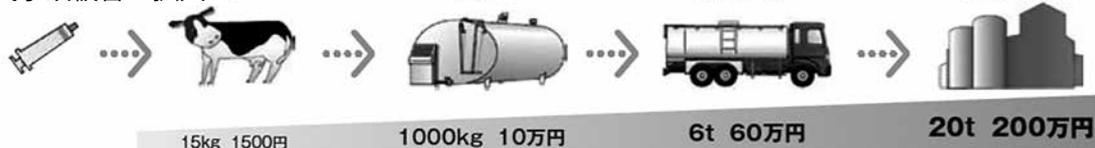
生乳廃棄事故は、出荷当事者の損害に止まらず、ローリー単位又は、乳業社ストレージタンクの損害賠償まで及びます。

「注意一秒・怪我一生」と申します。

抗生物質治療牛の搾乳に際しては、バケットミルクカーを用いる等して、別搾乳のうえ全量廃棄を徹底して下さい。

せっかくの健全な生乳・財産を損なわないために
も……!!

■抗生物質事故被害の拡大 牛



(北海道酪農検定検査協会)

(集乳業務担当者向け作業手順マニュアル-中央酪農会議より)